

2009年11月26日

東日本旅客鉄道株式会社

十日町市、小千谷市、川口町の皆さまへのお詫び及びご説明について

当社 信濃川発電所において発生した不正取水等の一連の不祥事等について、当社 代表取締役社長 清野智が11月25日に十日町市、26日に川口町、小千谷市にお詫びを申し上げました。それにあわせて、当社の今後の取り組み姿勢及び水利権の申請についての考え方等について、ご説明をさせていただきました。

主な内容

今回の不祥事についての基本的考え方について

- ・ 河川環境の整備と保全の重要性が増してきているにも拘らず、そのことに対する認識が薄かった。
- ・ 信濃川の貴重な水を使わせていただいているという認識がほとんどなかった。
- ・ 信濃川の環境改善を求める市民の皆さまの様々な声にしっかり向き合っていなかった。

そのような状況下でさらに、

- ・ 不正取水等の行為を行っていた。

という事実に関してご説明し、お詫びを申し上げました。

再発防止対策について

- ・ 全社的にコンプライアンスの重要性について徹底しました。
- ・ 「水力発電業務に関する部外有識者委員会」及び「発電所等における業務改善強化プロジェクト」を設置し、河川法令等の遵守に関する社員教育を実施するなどの「意識面の対策」や、「会社の組織、制度の改善」、意思の疎通などに係る「風土面の改善」などに取り組んでまいりました。
- ・ 許可を受けずに新築または改築した工作物等の是正に取り組み、10月27日に北陸地方整備局長にご報告をいたしました。

「過去」に対するお詫び等について

- ・ 信濃川の流れは貴重な財産であるという認識にたって、河川環境と水力発電との調和に向けて取り組んでまいります。
- ・ 「宮中取水ダム魚道構造改善検討委員会」を設置し、委員会を2回開催いたしました。
- ・ 河川管理者のご指導もいただきながら、市民の皆さまを始め、関係の方々と河川環境についての話し合いをさせていただきます。
- ・ 河川環境に対する当社の取り組みが不十分であったことを深く反省し、「信濃川の河川環境の維持向上等、環境との調和を図っていただくこと」を目的として、十日町市に30億円、小千谷市に20億円、川口町に7億円を拠出させていただきます。
- ・ 取水停止中であるにも拘らず、かんがい用水の供給に伴って生じた電力を使うことになりましたが、この従属的発電相当分を還元させていただきます。

地域との共生について

- ・ 信濃川の河川環境等について、信濃川発電所にいただいていたご意見・ご要望について、関係の皆さまに、誠心誠意対応させていただきます。
- ・ 河川管理者等のご指導をいただきながら、実行できる施策を着実に進めてまいります。
- ・ 今後、地域の活性化に資する様々な施策を、関係する皆さまと相談しながら、実現してまいります。

水利権の申請の考え方について

- ・ 信濃川発電所は、当社の輸送サービスを行っていくうえで極めて重要な役割を担っており、水力発電は二酸化炭素を排出しないクリーンなエネルギーであります。
- ・ 今後、信濃川中流域水環境改善検討協議会の提言を踏まえ、河川環境との調和を図りながら、河川流量についても市民の皆さまを始め、関係の方々と話し合いをさせていただき、ご理解を得たうえで、発電を再び行わせていただきたいと考えております。
- ・ お詫びや今後の取り組み等についてご理解をいただいたうえで、北陸地方整備局長から指示された期限内に、発電の再開に向けた水利権の申請の諸手続きを進めてまいりたいと考えております。